

## 研究会におけるテーマ（例）

H22.3.19 行政企画課

### ○現状認識

- ・懸念される状況  
（例）社会資本整備の遅れ、少子高齢化の進展、医療・保健・福祉分野の人材不足、雇用の確保 など
- ・大分県の強みは何か  
（例）豊かな天然自然、温泉資源、観光、農林水産業、環境、産業集積、製造業、医療、留学生 など

### ○地域主権が進んだ場合に、どういう備えが必要か

- ・国からの権限・財源の移譲が進んだ場合、体制づくりをどうするか
- ・出先機関がなくなった場合、どうすればよいか
- ・住民本位の地域づくりをどう進めるか など

### ○地域主権を進めるにあたって、地方は何を国に発信すべきか

- ・国からの大幅な権限、財源の移譲
- ・二重行政の排除
- ・基礎自治体中心の地域主権国家でよいのか など

### ○目指す姿

- ・新しい大分県の目指すべき方向性のイメージ  
（例）・企業誘致や地場産業の振興による産業（集積）立県
  - ・湯布院や別府をはじめとする温泉資源を活用した観光立県
  - ・少子高齢社会に向けた高福祉・高負担による福祉立県
- ・新しい国と地方のかたち  
（例）現行の都道府県制度、政策連合、都道府県合併、広域連合、道州制

### ○「目指す姿」に向けてどうすべきか

- ・大分県のみで解決できるか（すべきか）
- ・他県と手を結ぶべき分野はあるか
- ・九州全体で取り組んだ方がよい分野はあるか など